IUGONET

超高層大気長期変動の全球地上ネットワーク観測・研究

Inter-university Upper atmosphere Global Observation NETwork

Metadata DB for Upper Atmosphere

IUGONETプロジェクトにおける ソーシャルメディアの活用

小山幸伸[*1]、佐藤由佳[*2]、金田直樹[*3]、米田瑞生[*4]、新堀淳樹[*5]、田中良昌[*2]、林寛生[*5]、 梅村宜生[*6]、堀智昭[*6]、 阿部修司[*7]、上野悟[*3]、 元場哲郎

[*1]京大・理・地磁気センター、 [*2]極地研、
[*3]京大・理・附属天文台、 [*4]東北大・惑星プラズマ大気研究センター、
[*5]京大・生存研、 [*6]名大STE 研、
[*7]九大・国際宇宙天気科学･教育センター

IUGONETとは？

- (日本国内の５機関７組織が参加している）

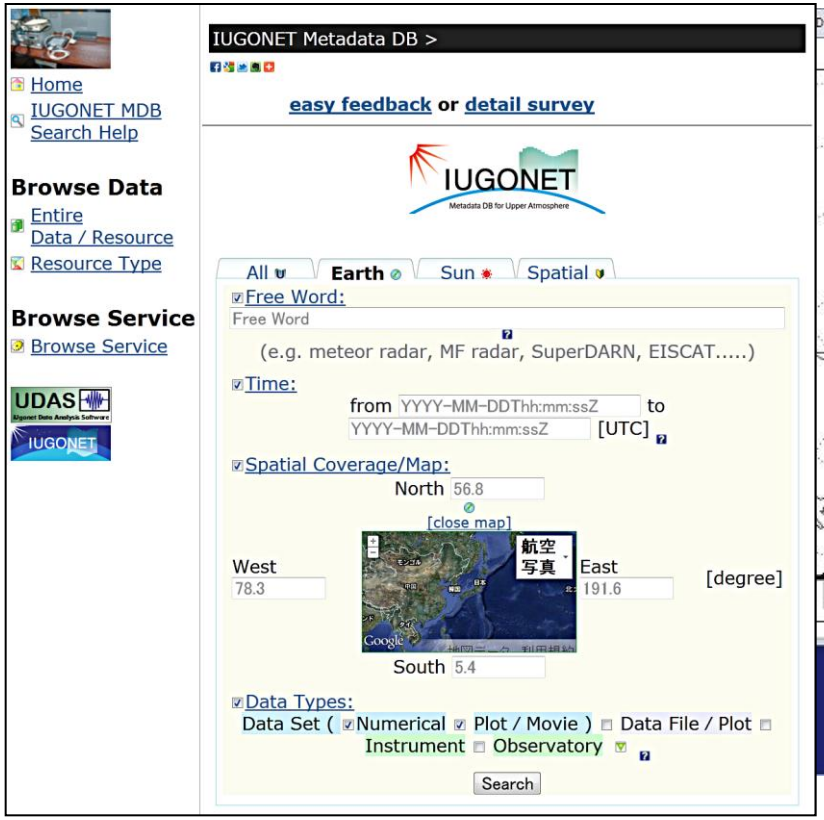
  大学間連携プロジェクト
  「超高層大気長期変動の
  全球地上ネットワーク観測・研究」

  - キーワード：　学際的研究、メタデータ、データベース

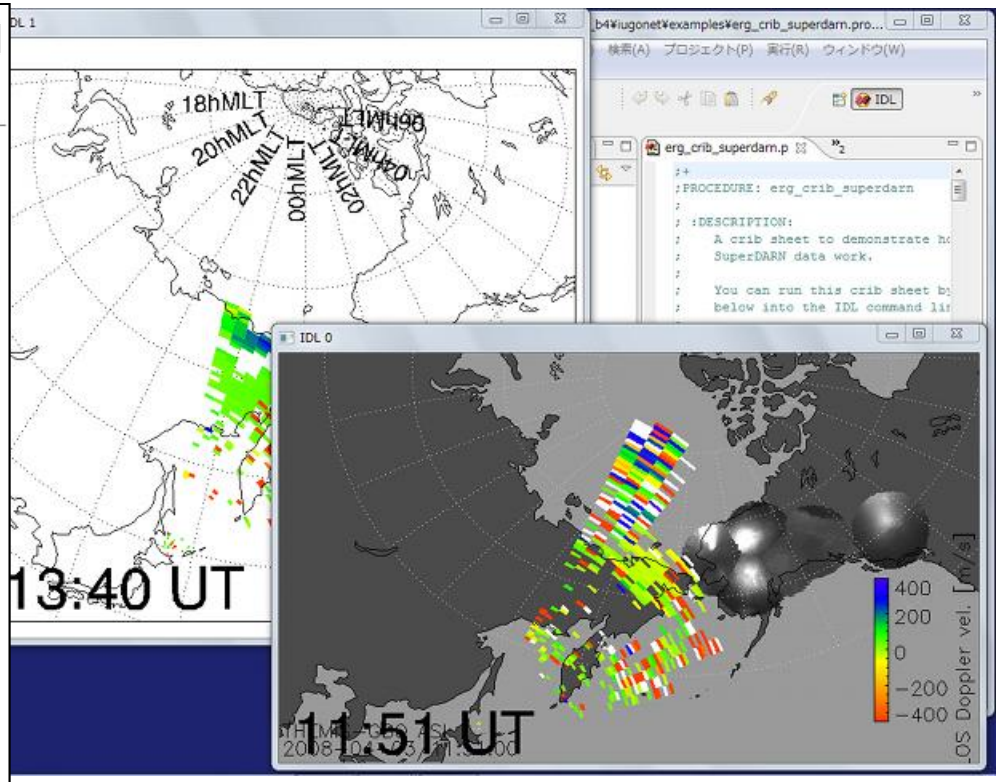
- 時限付き、６年計画の４年目。

プロジェクトの3本柱

①メタデータDB



②データ解析ソフトウェア



③これらを用いたサイエンス

特徴： インフラ整備に相当な比重を置いている。

インフラ整備の現状

- 超高層大気研究の必須ツールとして根付かせる為、
  利用者獲得が急務。

↓

ソーシャルメディアに注目

（昨年度から本セッションに参加）

Twitterの利用

@iugonet

- フォロワーが４６（本大会中に５増加、ブース効果）
- 研究集会参加者に案内。

1. プロダクトの機能
2. 研究集会/データ解析講習会の案内
3. その他、(我々のデータに関する)科学的な話題。

- 日本語のみ

Twitter導入前後

Twitter導入前

- 電子メール、
- GoogleDocsのフォームによるアンケート、

によるプロダクトに関するフィードバックを期待♪

↓

両方0件？？

Twitter導入後

- 知り合いのDB関係者からのレスポンスはあったものの、ユーザー or 潜在的なユーザーからの(Twitter上での)レスポンスは無し。

↓

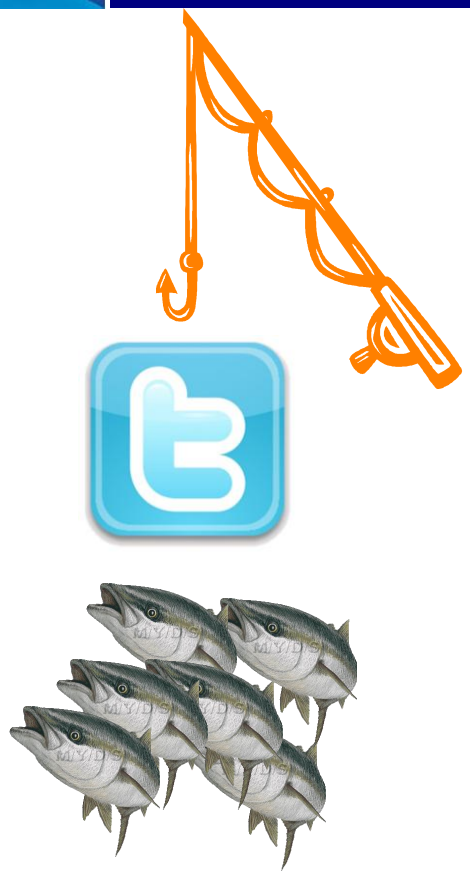
対面した際に「見たよ」というレスポンスはある。

うまくいっていない点の考察

1. IUGONETに興味を持っている人中の、
   (地球電磁気・地球惑星圏学会の会員、600, 700人規模)
2. Twitter利用率、
   （学生会員数がプロキシーになる！？）、
3. 返信率、
   （統計データは無いけど…、経験的に低い．．．と思う。）

- 上記を考慮すれば、反応の無さは当然の結果！？
- 名指しでなく、万人向けの情報提供はこんなもの！？

ユーザー獲得が目的、SNSは手段



ハマチ(学生・若手研究者)

ブリ（ベテラン研究者）

Young Yellowtail, Yellowtailには別の仕掛けが必要？？

既存のメディア対応＋SNS対応

Twitbotを使った、

わずかな省力化例

- ソーシャルメディアを使っている／使っていない双方に向けた、広報手段が必要。

↓

広報負荷増大

↓

負荷低減の為に、記事を共通化し、APIでメディア変換をするのが良い？

Write once, Change into any media!

- 言語の壁により、SNS間連携が有効で無い。日英で別の広報手段が必要。

まとめ

- IUGONETのTwitter利用は、拡声器的利用法に留まる。

- Twitterは、若手向け広報手段として貢献。多チャンネル化による広報負荷増大の可能性。

- Twitter自体は集音器の機能もあるはず。対話、そして対話から建設的な議論が生まれるような情報提供を心がけたい。

京大理所蔵の拡声器。録音再生機能によって、何度でも大音量で出力！

おまけ

日英キャプション付きデモ動画/ソフトのインストール動画を公開。

IUGONET Channel

JpGU Meeting 2012

IUGONETブースを出展します。

期間: 5月20日(日)～5月25日(金)
場所:幕張メッセ 国際会議場2階中央ロビー 10番
(コンベンションホール入り口すぐ)

・プロジェクトの紹介、
・メタデータ・データベースのデモ展示、
・データ解析ソフトウェアのデモ展示、
等を予定しています。>>